

香川県言語聴覚士会会報

KAGAWA SPEECH-LANGUAGE-HEARING THERAPISTS ASSOCIATION NEWSLETTER

発行所／（一社）香川県言語聴覚士会

新年のあいさつ

副会長 大原 久美子

明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、良き新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、多くの会員の皆様が県士会活動に参加していただき、ありがとうございました。新型コロナウイルス感染症は未だ終息の兆しがみえません。それでも、対策をし共存しながら皆様お過ごしのことと思います。勉強会や研修会においてはオンラインで開催されることが今まで多かったです。ハイブリッド形式での開催もどんどん増えてきているように感じます。直接顔を合わせ話ができる会場参加と、手軽に自宅からでも参加できるオンライン。選択肢が増えたことで、皆様も研修会や勉強会に参加しやすくなっているのではないのでしょうか。

さて、昨年は皆様にとってどのような一年でしたでしょうか？一年を振り返ることで、自身が思っている以上に「やり遂げたこと」に気がつくかもしれませんね。また、「やってみたいこと」が浮かんでくるかもしれません。

2023年、卯年を迎えました。卯年は、跳躍する姿から「飛躍・向上」を象徴すると言われています。「やってみたいこと」が浮かんできたら、ぜひ飛び乗りましょう！本年もどうぞよろしく願い申し上げます。

第 2 回施設代表者会議 報告**会長 武島 章**

昨年度より県士会活動に関する意見交換を目的とした施設代表者会議を開催しておりますが、今年度も 11 月 10 日に高松・東讃ブロックで、また 12 月 8 日に中讃・西讃ブロックで同会議を開催いたしました。双方とも zoom でのリモート形式で行い、合わせて 24 施設の代表の方にご参加いただきました。

会議ではまず私の方から、県士会の事業が年々増加している一方でスタッフの確保困難や参加者の固定化などの問題点があることを提起し、「会員が参加しやすい県士会のあり方とは」というテーマでグループディスカッションを行っていただきました。

ディスカッション後の発表では、「知っている人があまりいないところへ出ていくのは、気持ちの上でハードルが高い」などの意見が聞かれ、会員同士顔が見える関係を作ることの重要性が示されました。その上で

- ・特に若い会員を対象とした症例検討会や勉強会の開催
- ・以前実施したワールドカフェのような座談会の開催
- ・気軽に疑問点を聞くことができるチャットツールの利用
- ・会員の気軽なコミュニケーションの場となるようなサークル活動の実施

などの具体的な提案をいただきました。また、

- ・子育て世代はなかなか会場に足を運ぶことが難しい時もあるので、オンラインやハイブリッドでの開催はありがたい
- ・LINE での周知の方がより伝わりやすい
- ・スタッフに日当が支給されるようになったことをもっと周知した方が良い

などのご意見もいただきました。

コロナ禍以降オンラインセミナー等の普及により、高名な先生の講義を自宅や職場で気軽に聞ける時代になりました。その一方で同じ地域で働く ST 同士の横のつながりがコロナ禍以降希薄になりつつあります。このつながりを太く丈夫なものとし、それを土台とすることが「会員が参加しやすい県士会のあり方」とであると強く感じた今回の会議でした。

お忙しい中ご参加いただいた施設代表の皆様、本当にありがとうございました。

第 3 回リハビリテーション 3 団体合同災害対策研修会に参加して

四国こどもとおとなの医療センター 高木威一郎

第 3 回リハビリテーション 3 団体合同災害対策研修会が令和 4 年 11 月 12 日に行われました。今回は医療法人社団木星会 山鹿温泉リハビリテーション病院総合リハビリテーション部部長の佐藤亮先生をお招きし、災害リハビリテーションと地域リハビリテーションについて、また災害リハビリテーションの実際、令和 2 年 7 月豪雨における熊本 JRAT の活動についてなどご講演いただきました。PT・OT・ST合わせて 23 名（内 ST 4 名）の参加者がありました。実際に先生がご経験された活動のお話は、とても興味深い内容で参加された先生方だれもが集中して聴いておりました。災害リハビリテーションは災害時における被災者・要配慮者などへの早期自立生活の再建・復興を目指す活動であり、リハビリ専門職の視点から見た立場、役割などが学べる内容となっております。また、ルーブリックに沿った演習もあり、講義された内容がフィードバックされる形で理解を深めることができました。

災害リハビリテーション委員会では今後も引き続き実践的な研修を企画してまいりますので、皆様のご参加をお待ちしております。

第 17 回四国言語聴覚学会のご案内

1. 開催日時：令和 5 年 2 月 12 日（日） 13 時 00 分～17 時 00 分
2. 場 所：オンライン開催（ZOOM）
3. プログラム
 - ・ 13 時 00 分：開会挨拶
 - ・ 13 時 05 分：一般演題（4 題） 1 演題 15 分（発表 8 分、質疑応答 7 分）
 - ・ 14 時 05 分：休憩
 - ・ 14 時 10 分：シンポジウム「各県 ST の聴覚療法への取り組みについて」
 - ・ 15 時 30 分：専門講座（90 分）

講師：富澤晃文先生 テーマ：「子どもの発達ときこえの評価・対応（UPDETE）」

令和4年度学術講演会

高松ブロック長 川野雅英

今回は、令和4年11月20日（日）に「生活を支える医療を目指して～言語聴覚士に伝えたい義歯の事・口腔機能の事～」という題名で医療法人社団駿陽花しもむら歯科医院の院長 下村隼人先生をお招きして講演をしていただきました。先生は中四国ではじめてとなる往診専門の歯科医院を運営されております。そして、日本摂食嚥下リハビリ学会認定士でもあり、食べることへの支援を大切にされております。

今回の講演には34名（内、1名県外）の言語聴覚士が参加していただきました。普段我々が触れることの多い歯や口腔についてですが、この講演を聴講することで改めて知識の確認や知識のアップデートすることができた非常に有意義な時間となったことと思います。

この講演会の中で多くの事を学びましたが、特に印象に残った2つをこちらでご紹介いたします。まず1つ目にブラッシングに対する考え方です。ブラッシングとはプラーク（歯垢）を除去することで、歯磨きや歯口清掃のことです。また、ブラッシングはプラークコントロールと呼ばれることもあります。歯面を磨くことでプラークが「破壊」され、破壊されたプラークを「回収」することが口腔ケアの基本ということを学びました。また、プラークは義歯にも付着するので、水で流し、漬けて管理するだけでなく、ブラッシングし、プラークを落とすことも基本であることも学びました。そして、2つ目に今回一番学ぶことができたのが講師の先生の「心構え」についてです。我々も普段多くの医療関係者や患者様、ご利用者様、ご家族様、その他の関係者様から多くの「試されごと」があるかと思えます。内容についても、新規の患者様や患者様に関するご相談など多岐に分かるかと思えますが、あなた（セラピスト）を信じてご依頼やご相談をされているので、真摯に受け止め即返事を行いしっかりとお応えする姿勢について私自身は大変共感致しました。まだまだたくさんの内容について学ぶことが出来ましたが、今回はここまでにさせて頂ければと思います。また、他職種の方々の意見をお聴きし日々の臨床に反映していくことはとても新鮮であり、改めて基本について学びなおすことができた時間となった事と思います。ご講演いただきました下村先生本当にありがとうございました。

事務局よりお知らせ

■入会希望の方へ

「入会届」の提出と年会費5,000円のお支払いをお願いします。

■会員の皆様へ

下記に変更があった方は事務局までご連絡ください。

*職場 *名前 *連絡先 *メールアドレス

⇒「変更届」の提出をお願いします ※メール、郵送対応可能

●年会費は年度中のお支払いをお願いします。

●退会については、事務局までお問合せください。

■届出用紙の提出方法

「入会届」「変更届」は県士会ホームページ <https://www.normanet.ne.jp/~kagawast/> よりダウンロードできます。ご入力・記名の上、メールまたは郵送にて事務局までご送付ください。

注意：メールで用紙を送付された方には受領メールを送らせていただきます。受領メールが一週間以内に届かない場合は、事務局までお問合せください。

■振込先

【記号】16310 【番号】18249361 【名前】一般社団法人香川県言語聴覚士会

◎他の金融機関からの振込

【店名】六三八 【店番】638 【預種目】普通預 【口座番号】1824936

注意：入金いただきましたら事務局までご一報ください

その他、ご不明な点がございましたら、事務局までお問い合わせください。

〒761-8057 香川県高松市田村町1114

かがわ総合リハビリテーションセンター 言語療法室内 一般社団法人香川県言語聴覚士会 事務局

TEL：087-867-6008 Mail：kagawast.gengochokek@utopia.ocn.ne.jp